

● 令和4年度の取り組み

手話施策推進方針

1. 手話の理解及び普及



①学校への手話出前講座

- 八上小、城北畑小（2回）、
多紀小、城南小、今田小、篠山養護学校
（1回）
（計：延べ8校 193人）

→講座開催にあたり、事前学習していただいている学校もあり、児童の習熟度が高かった。
しかし、学校の授業では複数回の取り組みが難しいことから、「夏休みこども手話教室」
等で継続して取り組めるように進めていく。

①市役所内 朝のあいさつ運動や部長会、各課での手話の取り組み【拡充】

- 毎週月曜日の朝礼時でのあいさつの練習
- 部長会や各課での手話講習の実施 【拡充】

②新規採用職員研修における「丹波篠山市みんなの手話言語条例」についての講義及び手話講座

①出前手話講座

- JA丹波ささやま(参加者数:8人)
- 前沢田自治会(参加者数:27人)
- 市議会議員研修(参加者数:13人)

②夏休み・冬休みこども手話教室

夏休み(3回)、冬休み(1回)実施(延べ21人)

→参加者アンケートでは、出前講座も含め、全ての参加者から前向きな回答を得られた。
また、子どもの習熟は早く効果は高いことから次年度も継続して取り組んでいく。

(参加者の感想)

- 手話ってすごいし、おもしろいな。もっとやりたいし、知りたいと思いました。
- 楽しかった。覚えやすい表現だからすぐ覚えられました。
- たくさんやって、話せるようになりたいです。
- 手話の本を買って読んだ。
- 直接手話で話せたので良い経験になりました。名前を手話で楽しく表すことができました。



③市広報紙による手話コーナーの掲載【新規】

→令和4年4月号からリニューアルし、QRコードを使用して、市HPに新設する「手話コーナー」とリンクできるようにした。

ろう者や手話理解及び普及の推進

②「手話言語の国際デー」におけるライトアップ及び図書コーナーの開設【新規】



手話施策推進方針

2. 手話による情報取得及び 手話の使いやすい環境づくり

手話による情報取得ができる環境づくり

①NET119緊急通報システムの導入

令和2年9月より、聴覚・言語機能障がい者の方々がスマートフォンなどからWebサイトにアクセスし、ボタン操作や文字入力による通報ができるシステムを導入

(消防署)

(利用件数 0件)

購買施設等で手話による意思疎通ができる環境整備についての働きかけ

①コミュニケーションボードの設置

分かりやすい絵や記号などを使って、自分の思いや意思を伝える手段のひとつとして、市内スーパーマーケットや市役所内に設置。



手話施策推進方針

3. 手話通訳者の配置又は派遣等 意思疎通支援



①手話奉仕員養成講座

令和4年度は「入門編」「基礎編」を1年間で開催。
(昼間の部)。全44回。

- 入門編：参加者10名（うち修了者10名）
- 基礎編：参加者6名（うち修了者6名）

→修了者を令和5年度開催の「手話通訳者養成講座（通訳Ⅰ）」へつなぐ。

②手話通訳者養成講座(通訳II)

手話奉仕員養成講座（基礎編）修了者を対象に開催。全34回。

- 丹波市と合同開催（参加者12名）

- 修了者7名

（うち丹波篠山市3名、丹波市5名）

→修了者を令和5年度開催の「統一試験対策講座」へつなぐ。



③全国統一試験対策講座

手話通訳者全国統一試験受験予定者を対象に
開催。全2回。

●丹波市と合同開催（参加者8名）

（うち丹波篠山市3名、丹波市5名）

→令和5年度も引き続き開催していく。



④現任手話通訳者研修

現任通訳者の技術向上のための研修を開催

- 丹波市と合同開催
- 全8回
- 丹波篠山市現任手話通訳者が参加

①手話通訳派遣事業

●R4年度派遣件数（※R5年2月21日現在実績）

- 手話通訳者派遣（個人からの申請） …169件
- 手話通訳者派遣（学校からの申請） …34件
- 手話通訳者派遣（行政からの申請） …26件
- 講演会通訳派遣（行政からの申請） …22件

他団体等のさまざまな取り組み

●手話カフェ@ささやま

- ・手話サロン等

●“兵庫・丹波篠山とっておきの音楽祭”における 手話ステージ設置（助成金を交付）

